

・ 第一次派遣軍事監視要員隊長【石橋 克伸 1佐】

日本の皆様には平素から我々の活動に対し様々なご支援とご声援を賜り有難うございます。

我々軍事監視員及びネパール連絡調整事務所員は、それぞれ元気に任務遂行中です。我々の活動は道路や学校の補修などの目立ったものではなく、和平合意が順守されているかを、人目に付かない現場で黙々と監視することが主体であり、華やかな成果を披露できる活動ではありませんが、国連の一員として組織と現地に溶け込み、それらのルールに従って淡々と勤務に精励しています。

こちらでは、国連英語と言われる様々な発音や表現法の英語に苦勞しながら、また日本とは異なる仕事のやり方、例えば、計画の作成、会議の実施、報告書の作成等の要領も微妙に異なるところがあり、これらに戸惑いながら勤務しています。また、約束や時間を必ず守ること等、日本人にとっては仕事をする上で当たり前と思えるようなことを大切に思わない人々もおおり、責任のある仕事のやり方に慣れた我々には苛立ちすら感じることもあります。

一方、我々日本の要員が得意とする分野は、各国軍事監視員やネパール人との関係作りです。自分の主張が優先である他国の要員に比して、日本人は自然に、相手のことを尊重し、自らを謙遜しつつ行動するので、好感をもたれており、また、仕事も責任を持って真面目に取り組むため、人々と親密な関係を作り、彼らから信頼を獲得できているのではないかと考えています。そして、このような人間関係は、時として危険な状態も生起し得るこの活動において、非常に重要な情報や協力の獲得に大きく役立っています。

また、ネパールは同じアジアの国であり、文化や習慣においても溶け込みやすい点が多々あるので、現地の人々とも親しみやすく、日本がネパールの平和のために真摯に努力している姿をアピールし、かつ、日本人は真面目で礼儀正しく、親切な人達だと思ってもらうことにも、多少は貢献できているのではないかと考えています。

引き続き、そういった人と人との触れ合いを通じ、日本の素晴らしさを世界に理解してもらえるよう、微力ながらも頑張っていきたいと考えています。今後とも、ご支援のほどよろしく申し上げます。

※ 注) 石橋一佐は第二次派遣要員と交代し、平成20年3月18日に無事日本へ帰国しました。



石橋1佐(右から2人目)